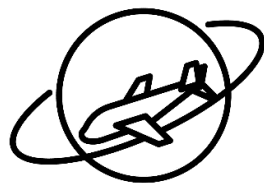


2024年度 徳島大学総合科学部 国際交流の全て



総合科学部国際交流委員会

目次

I．短期海外留学プログラム（1 頁～7 頁）

II．長期海外留学（8 頁～12 頁）

III．長期留学プログラム F A Q（13 頁～16 頁）

IV．カルチャー・ラウンジ / 留学経験者からの声（17 頁～18 頁）

V．バレンシア国際カレッジプログラム（留学＋インターンシップ）
（19 頁～20 頁）

I. 短期海外留学プログラム

グローバル化が進む今の社会においては、多くの社会的ないし経済的課題は、従来のように国内からの視点からでは解決できません。私たちは一つ一つの問題に対して、世界的な視野をもって対処してゆかねばなりません。その際にカギとなるのは、自らの国際的な経験です。

そうした経験の場として、まず総合科学部は、様々な短期海外留学プログラムを用意しています。ここで得た語学学習の成果や、さまざまな国際交流経験、世界の実情についての経験を、各自の専攻テーマやゼミでの学びに生かしてください。更に、こうした体験をふまえて、2年次後期以降、長期海外留学にチャレンジしてください。

1. 短期海外留学プログラムとは

海外留学・研修は目的によって、(1) 語学研修、(2) 文化交流・研修、(3) フィールドワーク、(4) インターンシップ等に分けられます。自分の目的や関心に応じて、次の短期海外留学・海外研修プログラムから参加を希望するものを選んでください。

2. 参加のための手続き

夏期に実施されるプログラムは4月に説明会を開催し、5月に申込みを行います。春期に実施されるプログラムは10月に説明会があり、11月に申込みが行われます。説明会の際に、留学願用紙や参加申し込みのための書類を配布しますので、説明会の日時の案内に注意してください。国際プログラム関係の案内は総合科学部 国際交流ページに掲載しますので、HPを日ごろから注意しておいてください。

参加の申し込みは、国際課で受け付けるものと総合科学部学務係で受け付けるものとがあります。以下の各プログラムの説明に記載された期日までに留学願、参加申込書を提出してください。海外プログラムに参加するためにはパスポートが必要になります。持っていない人は早めに取得手続きを行っておいて下さい。

3. 単位申請の手順

短期海外留学プログラムに参加することで、「総合科学実践プロジェクトJ」、令和6年度入学の学生は「海外実践プロジェクト」の単位が認定されます。定められた研修前の事前説明会、事前学習、海外研修の全期間への参加、研修後の発表会、レポートを提出した場合、成績に「認定」と表記されます。認定される単位数はプログラムごとに定められています。また、「実践プロジェクトJ」または「海外実践プロジェクト」に指定された海外プログラムのうち、南イリノイ大学、オークランド大学、開南大学の語学研修については、教養教育院の語学科目の単位認定を受けることも可能です。教養教育院で単位認定の申請を行ってください。（ただし、開南大学の語学研修で教養教育院の語学科目の単位に認定されるのは中国語のみです。）同一のプログラムについては、「総合科学実践プロジェクトJ」、または「海外実践プロジェクト」教養教育院科目いずれかでしか単位認定を申請できません。

4. プログラムの参加費用について

短期留学プログラムによっては、現地で通訳等のガイドや施設利用費などが必要になる場合があります。その際、参加学生にその費用を負担していただくため、予定された参加費用（往復航空券、滞在費、研修費、渡航手続き費用、保険料等）を上回ることがあります。

5. JASSO（日本学生支援機構）奨学金 / アスパイア奨学金

総合科学部の短期海外留学プログラムは、JASSO（日本学生支援機構）あるいは徳島大学アスパイア奨学金の対象となります。支給額は訪問する国や地域によって毎年異なります。地域によって4万円～8万円が支給されます。

アスパイア奨学金を受給するにはTOEIC 400点以上の得点を取得または英検準2級以上に合格していることが条件となります。アスパイア奨学金の申請用紙は説明会で配布すると同時に総合科学部の国際交流ホームページからのリンクでダウンロードできます。申請書は国際課で受け付けています。

＜2018年～2023年度支給実績＞

新型コロナウイルス感染症による海外渡航自粛のため、2020年度は実績なし

JASSO 55名

※ 短期プログラム（8日以上30日以内）支援は2020年度で終了となりました。

アスパイア 94名

※2020年度～2023年度はオンライン研修支援奨学金の支援がありました。

オンライン研修支援奨学金 78名

6. 「総合科学実践プロジェクトJ」「海外実践プロジェクト」（短期海外留学）プログラムの種類

（事情によりこれらのプログラムが実施できない場合があります。また実施時期等の変更の場合があります。）

夏 期（7月～9月）

1. 南伊利ノイ大学 CESL 英語研修－アメリカ、伊利ノイ州
2. トリニティウエスタン大学 英語研修－カナダ、ブリティッシュコロンビア州
3. セントポール大学フィリピン－フィリピン、カガヤン州
4. US-JAPAN FORUM カリフォルニア・イノベーション研修－アメリカ、カリフォルニア州
5. ディズニー・イマジネーション・キャンパスに学ぶ8日間－アメリカ、フロリダ州
6. 開南大学での中国語 / 英語研修－台湾、桃園市
7. 寧波大学 日中文化交流プログラム－中国、寧波市（2024年度実施なし）
8. 台湾育達科技大学文化交流研修－台湾、苗栗県
9. イタリアでのスローフードと世界農業遺産研修－イタリア、ピエモンテ州ブラ

春 期（2月～3月）

10. オークランド大学 ELA 英語研修－ニュージーランド、オークランド市
11. 南伊利ノイ大学 英語研修－アメリカ、伊利ノイ州
12. トリニティウエスタン大学 英語研修－カナダ、ブリティッシュコロンビア州
13. セントポール大学フィリピン－フィリピン、カガヤン州
14. US-JAPAN FORUM グローバルプロ基礎コース－アメリカ、カリフォルニア州
15. 台湾育達科技大学文化交流研修－台湾、苗栗県
16. ポルトガル文化交流研修－ポルトガル、レイリア市

《夏期プログラム（2024年7月～9月）》

各プログラムの参加費用は情勢により変動する可能性があります。

1. 南イリノイ大学 CESL 英語研修（4単位）

研修地 アメリカ・イリノイ州

研修期間 8月中旬～9月中旬（4週間）

研修目的 英語研修

研修プログラムの特色 レベル別に少人数で、文法、発音、会話、リスニング、リーディング、ライティングについて、集中したトレーニングを行い、総合的な英語力アップを目指す。

研修プログラム内容 宿泊は大学寮。週ごとに20時間以上の授業時間に加えて15時間以上の自習時間が設定されています。週末には小ツアーも用意されている。

事前指導、事後指導 事前指導、事後指導あり

参加費用 約40万円（研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料込）別途、往復航空券代が必要

応募締切、申し込み先等 5月上旬～下旬、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

2. トリニティウエスタン大学 英語研修（4単位）

研修地 カナダ・ブリティッシュコロンビア州

研修期間 8月上旬～9月上旬（4週間）

研修目的 英語研修、カナダ文化理解

研修プログラムの特色 全50時間の英語研修に加え、現地の方と共にアウトドアチーム研修を行う。また、プレゼンテーションスキルアップやバンクーバートリップ等の内容も含まれている。座学とフィールドワークが組み込まれたプログラム。

研修プログラム内容 宿泊はホームステイ。4週間の英語研修とフィールドワークでの文化研修。

4週間の内容には、「Language Course」「Outdoor Team Building」「Presentation Skill」「Observation」「Vancouver Trip」「Volunteer」が含まれている。

事前指導、事後指導 事前指導、事後指導あり

参加費用 約40～50万円（研修費、ホームステイ費用、保険料込）別途、往復航空券代が必要

応募締切、申し込み先等 5月中、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

3. セントポール大学フィリピン 英語・フィリピン文化研修（2単位）

研修地 フィリピン・カガヤン州

研修期間 8月下旬～9月上旬（2週間）

研修目的 英語研修、フィリピン文化理解

研修プログラムの特色 全30時間の英語研修に加え、現地の方と共に課外活動を行う。授業は、テストでレベル別にトレーニングを行う。座学とフィールドワークが組み込まれたプログラム。

研修プログラム内容 宿泊は寮。2週間の英語研修とフィールドワークでの文化研修。

事前指導、事後指導 事前指導、事後指導あり

参加費用 約11万円（700USドル）（研修費、現地ツアー費用、寮費、食費、保険料込）別途、往復航空券とマニラでのホテル代が必要

応募締切、申し込み先等 5月中、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

4. US-JAPAN FORUM カリフォルニア・イノベーション研修 (2単位)

研修地 アメリカ・カリフォルニア州

研修期間 9月中旬

研修目的 語学研修、イノベーション研修、シリコンバレー施設見学

研修プログラムの特色 語学研修、講演、大学やシリコンバレーの最先端企業を見学することでイノベーションを学ぶ。

研修プログラム内容 宿泊はホテル。英語レッスン、サンノゼ州立大学訪問、イノベーション専門家による講演やディスカッション。Google, Canon USA, Apple, Intel 等のビジターセンター見学。

事前指導、事後指導 事前指導あり。書類選考あり。

参加費用 未定（往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料など）

応募締切、申し込み先等 5月、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

5. ディズニー・イマジネーション・キャンパスに学ぶ8日間 (2単位)

研修地 アメリカ・フロリダ州

研修期間 8月下旬～9月中旬の8日間

研修目的 ディズニーがゲストに対してどのようなホスピタリティを提供し、スタッフはどのようにリーダーシップを培っているかを学ぶことを目的とする。

研修プログラムの特色 映像技術、ショービジネスの裏側などのリベラルアーツの授業や、リーダーシップ、チームワークなど、様々なアクティビティを通して Walt Disney Company によるトレーニングを受ける。

研修プログラム内容 宿泊はディズニーオフィシャルホテル。「ストーリーテリング」「テーマパーク・デザイン」「リーダーシップ」「チームワーク」の体験学習とプログラムの学習の振り返りを行う。日程は下記を予定している。

1日目－日本出発、到着後ホテルへ、簡単なオリエンテーション 2日目－プログラム事前オリエンテーション 3日目～6日目－ユープログラムに参加、テーマパーク内でフィールドワーク、学習のまとめ、修了式 7日目－アメリカ出発 8日目－日本到着

参加資格、事前指導、事後指導 事前事後指導あり。帰国後はレポートの提出及び報告会での発表。TOEIC550点以上の英語レベルが望ましい。

参加費用 未定（往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料など）

注意事項 教員は引率しない。現地係員がいます。

応募締切、申し込み先等 5月中、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 服部恒太先生 kota@tokushima-u.ac.jp

6. 開南大学での中国語/英語研修と台湾文化体験 (2単位)

研修地 台湾・桃園市

研修期間 8月中旬～下旬(2週間)

研修目的 語学能力（英語もしくは中国語）、文化体験、台湾人学生との交流

研修プログラムの特色 開南大学が夏季に実施するサマープログラムに参加し、語学力（中国語もしくは英語）の向上と台湾の社会、文化、歴史を学ぶ。またチューターの台湾人学生や日本各地から集まる学生たちと交流を深める。

研修プログラム内容 研修期間中は開南大学の学生寮に宿泊する。開南大学のサマープログラムに沿って語学研修、文化体験、台湾人学生との交流を行う。

事前指導、事後指導 事前指導あり。

参加費用 約未定（往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料込）

応募締切、申し込み先等 5月中、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 荒武達朗先生 aratake@tokushima-u.ac.jp

7. 寧波大学 日中文化交流プログラム (2単位) 2024年度実施なし

研修地 中国・寧波市

研修期間 9月中

研修目的 寧波大学の学生との文化交流

研修プログラムの特色

学生同士の日中相互の文化理解のためのプログラム。学生同士の日中相互の文化理解のためのプログラム。お互いの国の社会、文化、歴史を紹介し学生相互の交流を深める。中国語未履修者も参加可能。

研修プログラムの内容 宿泊は大学ゲストハウス。現地大学の学生たちとの交流会懇談会市内ツアー。

事前指導、事後指導 前指導でプレゼンテーション準備をおこなう。帰国後報告書をまとめる。

参加費用 未定(往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料など)

応募締切、申し込み先等 5月中、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 荒武達朗先生 aratake@tokushima-u.ac.jp

8. 台湾育達科技大学 文化交流研修 (2単位)

研修地 台湾、苗栗県 他

研修期間 9月中旬～下旬(2週間)

研修目的 台湾における日本語学習者の現状を知り、そこに可能な日本語による支援を実践する。

具体的には台湾の若い日本語学習者との交流によって、近隣アジア地域における多文化共生、異文化に対する理解を深める。

研修プログラムの特色 育達科技大学の応用日本語学科は、台湾における日本語教育が盛んな大学のひとつである。この研修では、台湾の日本語教育を通じてその現状を知り、そこにどのような支援ができるか考え実践する。日本語に軸足を置いた国際交流の一環である。「すぐ近くの海外」について見聞を広めたい人、日本語教育に興味のある人の参加を特に奨励する。

研修プログラムの内容 研修期間の前半は、育達科技大学にて、応用日本語学科学生との交流授業、中国語会話、書道、中華料理実習などを行なうほか、近隣高校日本語学科生徒との交流を行なう。休日には、文化施設見学を実施する。後半は台北市内に滞在し、故宮博物院、九份などを巡る。

事前指導、事後指導 2回ほどの事前準備研修を実施する。帰国後、学内にて報告会を実施する。

参加費用 約15万円(往復航空券、現地宿泊費、現地での交通費、保険料等込)

応募締切、申し込み先等 説明会を4月中旬に実施後、5月初旬に申し込みを開始し、半ば締切予定。

応募受付、申し込み締め切り等 5月中旬、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 村上敬一先生 murakami.kei@tokushima-u.ac.jp

9. イタリアでのスローフードと世界農業遺産研修 (2単位)

研修地 イタリア、ピエモンテ州 他

研修期間 9月上旬～9月中旬 または 9月中旬～9月下旬(約2週間)

研修目的 イタリアでの研修や講義を通して、環境と健康に配慮した食料生産と消費の実現に関する国際的に確かな知識を獲得する。

研修プログラムの特色 ①世界農業遺産プログラムを推進している国連食糧農業機関(FAO)と②環境と健康に配慮した食糧生産と消費の実現に向けた国際的な社会運動であるスローフードインターナショナルの本部があるイタリアで、国連や国際NGO/NPOに関する実務および食文化や食品産業に関心がある学生、また徳島県における食と農に関する文化や環境の保全や振興に関心をもつ学生を対象に研修を行う。

研修プログラムの内容 偶数年には、スローフードが隔年開催する世界最大の食の祭典であるテッラマードレ・サローネデルグストに参加して、①徳島県の世界農業遺産に関わる食品の展示、②食に関するワークショップや研究への参加、③食科学大学がホストする食科学学会への参加等を行う。奇数年には、スローフードの本部があるピエモンテ州ブラに滞在し、①スローフード本部での研修や、②食科学大学での講義の聴講をおこなう。

事前指導、事後指導 引率教員と事前に行う。

参加費用 約50万円(往復航空券、現地宿泊費、現地での交通費、保険料等込)

応募締切、申し込み先等 5月中旬、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 内藤直樹先生 naito.naoki@tokushima-u.ac.jp

《春期プログラム（2025年2月～3月）》

各プログラムの参加費用は情勢により変動する可能性があります。

10. オークランド大学 ELA 英語研修（4単位）

研修地 ニュージーランド・オークランド市

研修期間 2月下旬～3月下旬（4週間）

研修目的 英語研修

研修プログラムの特色 レベル別に少人数で、集中したトレーニングを行い、総合的な英語力アップを目指す。週末にはドイツツアー、小ツアー、その他のアクティビティがある。

研修プログラム内容 宿泊はホームステイ。週ごとに20時間以上の授業時間と15時間以上の自習時間が設定されている。

事前指導、事後指導 事前指導4回程度、事後指導1回

参加費用 約40万円（研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料込）別途、往復航空券代が必要

参加条件 TOEIC得点400点以上を取得していること。

応募締切、申し込み先等 10月下旬、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

11. 南イリノイ大学 英語研修（4単位）

研修地 アメリカ・イリノイ州

研修期間 2月中旬～3月中旬（4週間）

研修目的 英語研修

研修プログラムの特色 他国からの留学生と共に、レベル別のクラスで英語を学ぶ。授業のほかに、社会貢献活動について学ぶほか、実際に地域のボランティア団体の活動に参加する。

研修プログラム内容 宿泊は大学寮。3週間の英語研修及び地域での社会貢献活動。

事前指導、事後指導 事前指導3回程度、事後指導1回

参加費用 約40万円（研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料等込）別途、往復航空券代が必要

参加条件 TOEIC得点400点以上を取得していること。

応募締切、申し込み先等 11月上旬、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

12. トリニティウエスタン大学 英語研修（4単位）

研修地 カナダ・ブリティッシュコロンビア州

研修期間 2月上旬～3月上旬（4週間）

以下研修内容については夏季4に同じ。

応募締切、申し込み先等 11月中、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

13. セントポール大学フィリピン 英語・フィリピン文化研修（2単位）

研修地 フィリピン・カガヤン州

研修期間 2月下旬～3月上旬（2週間）

以下研修内容については夏季3に同じ。

応募締切、申し込み先等 11月中、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

14. US-JAPAN FORUM グローバルプロ基礎コース (2 単位)

研修地 アメリカ・カリフォルニア州

研修期間 2 月下旬～3 月上旬

研修目的 国際社会で活躍するためのスキル、自己実現の基礎を身につける、異文化理解

研修プログラムの特色 海外で活躍できるプロフェッショナルになるための基礎スキルや習得方法を、米国シリコンバレーで活躍する日本人プロフェッショナルの講師から直接学ぶ。

また、現地の大学やベンチャー企業などを訪問し、異なる文化や価値観等を学ぶ。

研修プログラム内容 宿泊はホテル。プロフェッショナル講演会およびディスカッション。カリフォルニア大学バークレー校やスタンフォード大学、ベンチャー企業などを訪問。

事前指導、事後指導 事前指導あり。書類選考あり。

参加費用 未定（往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料など）

応募締切、申し込み先等 1 月中、国際課

問い合わせ先 国際課 ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

15. 台湾育達科技大学 文化交流研修 (2 単位)

研修地 台湾、苗栗県 他

研修期間 3 月中旬～3 月下旬（2 週間）

以下研修内容については夏季 1 3 に同じ。

応募締切、申し込み先等 説明会を 11 月中に実施後、12 月初旬に申し込みを開始し半ば締切予定。

応募受付、申し込み締め切り等 11 月中、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 村上敬一先生 murakami.kei@tokushima-u.ac.jp

16. ポルトガル文化交流研修 (2 単位)

研修地 ポルトガル、レイリア市、他

研修期間 3 月上旬～3 月中旬（10 日間）

研修目的 徳島市と姉妹協定を結ぶポルトガル、レイリア市、首都のリスボン市およびその周辺を訪問して、日本文化を紹介すると同時に異なったヨーロッパ文化に触れ、市民や学生と異文化理解のための交流を行う。

研修プログラムの特色 参加学生はポルトガルで大学内外の人々と交流を持ち、現地の学生や市民たちと日本文化紹介と交流の催しを企画実施する。訪問先地域の歴史や地域特性にかかわりが深い場所も訪れる。英語が異文化コミュニケーションのための主な言語になる。

研修プログラムの内容 レイリア工科大学を拠点として、現地の学生や市民との交流。リスボンでは、大航海時代と啓蒙主義の時代について現場で学習を深める。また、博物館、美術館、修道院などの文化体験および現地の企業見学などを行う。

参加費用 未定（往復航空券、研修費、滞在費、渡航手続き費用、保険料など）

応募締切、申し込み先等 11 月末、総合科学部学務係

問い合わせ先 総合科学部 山口博史先生 yamaguchi_isa@tokushima-u.ac.jp

Ⅱ．長期海外留学

総合科学部は長期留学についても多様な派遣先を用意しています。長期留学とは、海外の大学で一学期間あるいは二学期間履修し、単位を取得することを目的とした留学です。短期留学が海外デビューであったとすれば、こちらは自分の専門、関心にしたがって、現地大学・社会で本格的な異文化交流、留学をする機会です。そのため、入念な準備をしてから留学する必要がある、また、交換留学生として本学部を代表して派遣されるため、成績・語学審査基準が短期留学よりも厳しく設定されています。

英語で講義を受けて単位を取得するケースと、中国語によるものとの二種類を用意しています。英語あるいは中国語の語学力の水準が現地での講義についていけるようになったと判断される時点で派遣をしますので早い人で二年生後期から、多くの場合は三年生後期から留学が開始されます。

留学期間中は、徳島大学に授業料を払い（現地での授業料は不要）、その期間は徳島大学在学期間に通算されます（一部例外あり）。取得した単位は、その時間数に応じた単位数、相応するカテゴリー（例えば「コース応用科目」や「コース自由選択科目」など）で、40単位まで認定されます。

自文化とは異なる社会で長期間生活することは、なかなか大変で、楽しいことばかりではありません。しかし、過去に長期留学を経験した先輩たちは、語学力の飛躍的な向上はもちろんのこと、さまざまな価値観への柔軟性、豊かなコミュニケーション能力など、これからのグローバル社会を生きていく上で必要な能力、たくましさを培って帰ってきています。

1. 協定校（交換留学）とスケジュール

派遣先		派遣人数	学内締切	派遣先締切	派遣期間
ルンド大学 人文神学部 (スウェーデン)	英語	4名	2月15日 8月中	4月25日 10月25日	秋学期：8月～1月 春学期：1月～6月
ビショップス大学 (カナダ)	英語	2～3名	2月15日	4月1日	秋学期：9月～12月 冬学期：1月～4月
マラヤ大学 (マレーシア)	英語	2名	2月15日 8月中	4月30日 10月31日	秋学期：9月～2月 春学期：2月～7月
ヴァレンシアカレッジ・ ディズニーワールドインターン シップ (アメリカ)	英語	選考による	11月中 6月中	1月末 7月末	秋学期：8月～1月 春学期：2月～8月
ラトヴィア大学 人文科学部 (ラトヴィア)	英語	3名	2月15日 8月中	5月15日 11月15日	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
ザグレブ大学 人文社会科学部 / クロアチア 研究学部 (クロアチア)	英語	3名	2月15日 8月中	5月15日 11月15日	秋学期：10月～2月 春学期：2月～7月
ゲント大学 人文・哲学部 (ベルギー)	英語	2名	2月15日 8月中	5月15日 11月15日	秋学期：9月～2月 春学期：2月～7月
リュブリャナ大学 文学部 (スロベニア)	英語	2名	2月15日 8月中	5月15日 11月15日	秋学期：10月～2月 春学期：2月～7月
ヴェリコ・タルノヴォ大学 (ブルガリア)	英語	3名	2月15日 8月中	6月 11月	秋学期：10月～2月 春学期：2月～6月
レイリア工科大学 (ポルトガル)	英語	2名	5月中 8月中	5月31日 11月30日	秋学期：9月～2月 春学期：2月～7月

ハノイ大学 (ベトナム)	英語	3 名	2月15日	5月15日 11月1日	秋学期：8月～1月 春学期：2月～6月
慶北大学 (韓国)	英語	3 名	12月末 8月中	5月15日 11月15日	秋学期：9月～12月 春学期：3月～6月
開南大学 人文社会科学部 (台湾)	英語 中国語	3 名	4月中 8月中	5月末 11月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月
嘉義大学 人文芸術学院 (台湾)	中国語	3 名	4月中	5月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
育達科技大学 人文社會學院 (台湾)	中国語	若干名	4月中	5月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
寧波大学 外国語学院 (中国)	中国語	3 名	4月中	5月末 11月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
武漢大学 (中国)	中国語	3 名	4月中	5月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
南京大学 (中国)	中国語	3 名	4月中	5月末	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月
吉林大学 (中国)	中国語	3 名	4月中	5月末 11月末	秋学期：9月～1月 春学期：3月～7月

- ヴァレンシア・カレッジはディズニーによるジョブ・インタビュー後が派遣先締切りです。
- フロリダアトランティック大学及び、ヴァレンシアカレッジは派遣先への授業料支払いが必要です。
- 各大学の締切り時期は変更する場合がありますので予めご了承ください。
- 上記以外の大学へ留学希望の場合は、お問合せください。

2. 出願書類

- 語学スコア TOEIC、TOEFL、HSK、TEC、中国語検定 等
- エントリーシート
- 志望動機書

* 提出書類は学務係へ提出してください。

詳細は総合科学部国際交流 HP をご覧ください。

3. 応募条件

- 語学力 英語：TOEIC 500 点以上 TOEFL 470 点以上
中国語：HSK 中国語検定試験 TECC による資格に基づいて審査をします。
未取得でも応募できますが上級高スコアを持っている方が有利になります。
- GPA（総合科学部 GPA）2.6 以上
- グローバル人材育成学習プログラム（P19）への登録（学務係）（R5年度以前の入学者）
 - * 英語を軸とするプログラムに参加の場合は1年次終了時まで
 - * 中国語を軸とするプログラムに参加の場合は2年次終了時まで

4. 奨学金

※新型コロナウイルス感染症による海外渡航自粛のため、2020 年度は実績なし

(a) JASSO 奨学金（日本学生支援機構）

【1 ヶ月以上 12 ヶ月以内】1 回あたり

指定都市：月額 10 万円 甲地区：月額 8 万円 乙地区：月額 7 万円 丙地区：月額 6 万円

2018 年度～2023 年度支給実績 35 名

2024 年度 最大 7 名 支給可能です。

(b) アスパイア奨学金（徳島大学）

【2 ヶ月以上 1 年以内】1 ヶ月あたり

アジア地域 最高 4 万円、オセアニア地域 最高 5 万円

アジア・オセアニア地域以外 最高 6 万円

2018 年度～2023 年度支給実績 11 名

(c) 振興会海外留学支援制度（総合科学部）

【8 日以上 2 ヶ月未満】1 回あたり

アジア地域 最高 10 万円、オセアニア地域 最高 15 万円

アジア・オセアニア地域以外 最高 20 万円

2017 年度～2023 年度実績 4 名（短期・長期）予定者含む

(d) トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

奨学金（月額）6 万円～16 万円

留学準備金 15 万円または 25 万円（派遣地域による）

授業料最大 30 万円

※各自が計画申請した留学に対して付与されるものです。

2023 年度から～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～が開始されました。

5. 準備

学部の代表者にふさわしい語学力、異文化間コミュニケーション能力、日本に関する知識（文化、歴史、言語、サブカルチャー等）、留学先の大学及び国に関しての知識等を身につけておくこと。

カルチャー・ラウンジを活用して、情報を収集し異文化間コミュニケーションを経験すること。

★留学までの流れ、提出資料等は、総合科学部国際交流ページを参照してください。

6. 単位認定手続きについて

留学中に取得した単位は、本学部の専門教育科目の単位として認められます。留学中に取得した成績を、本学部の専門教育科目の単位として認定する申請手順は、出発前、留学中また帰国後に派遣先での履修予定及び確定科目を「留学に伴う履修計画書」に記入して提出しなければなりません。また申請手続きは「外国留学における成績に基づく単位認定申請書」等を学務係に提出することにより行われ、その後、審査により本学部の専門教育科目として認められます。認定された単位は、40 単位まで卒業単位として算定されます。

7. 受講科目例

ルンド大学（スウェーデン） 提供科目（一部抜粋）

●Special Area Study Course

Modern Design in Scandinavia	Swedish Society and Everyday Life
One World、 One Language	Intercultural Communication

●Swedish language courses for exchange students

Introduction to the Swedish language	Swedish for exchange students
--------------------------------------	-------------------------------

アント大学（ベルギー） 提供科目（一部抜粋）

● Faculty of Arts and Philosophy

Music Psychology	Modern and Contemporary History
------------------	---------------------------------

● Faculty of Political and Social Science

Media Psychology and Media Sociology	Introduction to Global Economic History
--------------------------------------	---

慶北大学（韓国） 提供科目（一部抜粋）

●International Affairs

Academic Writing & Study Skills	Business Communication & Writing Skills
Modern Korean Society	Cultural Life in Korea

●Social Sciences / Humanities

Globalization and Asia	Communication in English
------------------------	--------------------------

ビショップス大学（カナダ） 提供科目（一部抜粋）

●English または English Second Language

Introduction to English Studies	Approaches to Short Fiction
Introduction to English for Academic Purposes I	English Phonetics and Pronunciation

マラヤ大学（マレーシア） 提供科目（一部抜粋）

●Faculty of Education / Languages and Linguistics

Introduction to Psychology	Mastering English
----------------------------	-------------------

●Faculty of Arts and Social Sciences

Introduction to International Relations	Introduction to Gender Studies
---	--------------------------------

ラトヴィア大学（ラトヴィア） 人文学部 提供科目（一部抜粋）

●English Philology

English Spoken and Written Communication I	History of the English Language
--	---------------------------------

●Modern Language and Business Studies

Business English	English Communicative Grammar
------------------	-------------------------------

ザグレブ大学（クロアチア） 提供科目（一部抜粋）

●Department of Croatian Studies / CROATICUM

Croatian everyday culture and language	The history of Croatian art
Language exercises in Croatan as a second and foreign language	

武漢大学（中国） 提供科目（一部抜粋）

初級漢語（総合）	初級口語
初級聴力	漢語写作基礎

開南大学（台湾） 提供科目（一部抜粋）

Intermediate Mandarin Speaking I	Intermediate Mandarin Listening I
Oral & Listening Training I	English Grammar and Practice I

8. 留学資金概要（1 学期間または 2 学期間留学する場合）

	Valencia (6 ヶ月間)	Lund (10 ヶ月間)	Bishop's (8 ヶ月間)	慶北 (10 ヶ月間)	Malaya (10 ヶ月間)
授業料（留学先）	約 30 万円	0 円	0 円	0 円	0 円
生活費	インターンでの給料で一部カバー	約 150 万円	約 96 万円	約 80 万円	約 80 万円
航空運賃	約 30 万円	約 25 万円	約 25 万円	約 10 万円	約 10 万円
海外保険 (徳島大学申込)	約 5 万円	約 8 万円	約 7 万円 (別途現地加入費)	約 8 万円	約 8 万円 (別途現地加入費)
雑費	約 20 万円	約 20 万円	約 20 万円	約 20 万円	約 20 万円
計	約 85 万円	約 203 万円	約 148 万円	約 118 万円	約 118 万円
JASSO 奨学金 又は アスパイア	約 36 万円 (アスパイア)	約 80 万円 (JASSO)	約 64 万円 (JASSO)	約 70 万円 (JASSO)	約 70 万円 (JASSO)
出費概算	85-36= 約 49 万円	203-80= 約 123 万円	148-64= 約 84 万円	118-70= 約 48 万円	118-70= 約 48 万円

* 費用等は変更される場合があります。

* ヴァレンシアカレッジの場合は 1 学期間の費用です。その他は留学先での授業料は無料ですが徳島大学に授業料を納付する必要があります。また、プログラム申請料金やガイダンス実施費用等が別途必要になります。

* 派遣国へのビザ申請料金等が別途必要になります。

* 上記金額は 2024 年 2 月現在のものです。金額は今後変動する可能性がありますので、派遣時にご自身で確認してください。

Ⅲ．長期留学プログラム F A Q

このQ & Aは海外提携校に一学期以上留学し、単位取得を目指す場合です。短期海外留学プログラムについては別途お問い合わせください。

Q．希望した留学先に留学できますか？留学候補者の選考はどのように行われるのですか？

A．交換留学協定校ごとの募集人数がありますので、応募者の数によっては競争になることがあります。その場合は、語学力（英語 or 中国語）、G P A（大学での成績）さらには英語あるいは中国語による面接によって派遣候補者を決定します。語学力は、T O E I CやT O E F Lなどの語学検定試験の成績から判断します。したがって希望する大学に留学するためには、語学力の向上を常に試み、必要に応じて語学検定試験を受けておくこと、さらに、日々の大学での授業をおろそかにしないことが重要です。

Q．留学して得られるものは何ですか？

A．英語あるいは中国語による講義を履修することで、語学力が格段に向上することはもちろんですが、現地社会や世界中からの留学生と交流することで外国の文化に触れ、他の文化のことを考えることで逆に日本の文化を見直し、いろいろな見方をできるようになったという学生が多いです。また、かけがえのない友人を得る人もいます。日本語の通じない海外での留学生活は大変です。しかし、物の見方や価値観が全く違う世界で学ぶことは想像以上に貴重な体験となります。

Q．留学の費用として、どのようなものがありますか？

A．生活費に加えて、航空運賃、ビザ取得費用、健康診断・予防接種費用、海外留学保険加入費用などがあります。留学先によって異なりますが、この冊子（P 12）の表にもあるように生活費を除くと40～50万円程度必要です。またスウェーデンやカナダなどは日本よりも物価が高いので、生活費（食費や宿舎費）を含めた総額で二学期間滞在の場合、150万から200万円くらいが必要になります。中国は物価が高騰しつつあるとは言え、食費・公共料金は安価に設定されています。目安として一ヶ月3～5万円程度の経費ですみます。また、日本との距離が近いので航空運賃は他の地域と比べて安価です。しかし、近年の為替の変動や物価高騰等により、経費に差額が生じますので、上記での出費額は目安とお考えください。

Q．留学先の大学の授業料は必要ですか？

A．留学先の大学に授業料を納める代わりに、徳島大学に授業料を納付します（一部例外あり）。また留学期間が修業年限に含まれますので、単位取得の状況や教員免許などの資格取得の希望にもよりますが、4年間での卒業は可能です。

Q．奨学金にはどのようなものがありますか？

A．「日本学生支援機構（JASSO）奨学金」、徳島大学の「アスパイア奨学金」や本学部の「振興会奨学金」が利用可能です。さらに「トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム」など手厚い奨学金制度が用意されており、積極的に活用されています。

Q. 奨学金の金額はどの程度ですか？またどの程度利用されていますか？

A. 本年度の長期交換留学生には「JASSO奨学金」が（成績基準を満たしていれば）全員に支給される予定です。支給額は欧米が月8万円、その他の地域は月6万円～7万円です。

「アスパイア奨学金」は欧米が月6万円、アジアは月4万円です。こちら希望者にはほぼ給付されます。「振興会奨学金」は欧米の場合、最高で20万円、アジアは最高10万円の一時支給で年間3名を予定しています。この他に、文科省と民間企業協働の「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」という制度が2014年から始まり、2019年度は3名（内2名は地域人材コース）が採択されていました。また、2023年度からは、～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～が開始されています。支給額は月額最大16万円です。なおこれらの奨学金を重複して受給することはできません。

Q. 奨学金受給者の選考はどのようにおこなわれるのですか？

A. 選考は留学候補者の選考と同じく語学力GPAが基準になります。

Q. 奨学金は返済する必要がありますか？

A. ありません。

Q. 長期留学のための準備として重要なことは何ですか？

A. 入学してからはACE（Academic Communications in English）プログラムをはじめとして日々の語学科目を積極的に履修してください。またそれに加えて総合科学部のカルチャー・ラウンジ（P17）やアカデミック・イングリッシュなどで主に英語力向上に主眼をおいた課外プログラムなどが豊富に用意されていますので、積極的に利用してください。また、カルチャー・ラウンジは語学力向上のためのサポートのみならず、海外からの留学生との交流の機会を提供していますので、積極的に利用してください。また留学準備のサポートもラウンジを中心におこなわれます。長期留学から帰国した学生がこのラウンジの運営のリーダーになります。

また国際教養コースを中心に英語による講義も多数用意されています。例えば国際ジャーナリズム、現代日本社会論、現代国際情勢概論などです。これらを積極的に受講して、英語で学ぶことに慣れておくことは留学前の準備としてきわめて重要です。

さらに語学力のみならず、総合科学部「グローバル人材育成学習プログラム」（R5年度以前の入学者対象）に指定されている科目も積極的に履修してください。このプログラムは海外の文化や歴史・社会を理解するための科目群に加えて、日本や地域の文化や歴史社会について学ぶ科目群から構成されています。

大学入学前は、まずは英語力の向上に励んでください。とりわけ読む力は英語力の土台ですから、たくさんの英文に触れて、読解力の向上に主眼を置いて準備をしてください。

Q. 留学に必要な語学能力はどの程度ですか？

A. 交換留学の候補者になるためにはTOEICで500点、TOEFLはPaper-basedで470点（Internet-basedで52点）が最低ラインです。しかし留学先大学での英語による講義を理解するにはTOEICで700点、TOEFLではPaper-basedで540点（Internet-basedで76点）程度の能力が必要になります。

中国語については、候補者になるための最低ラインは設定していませんが、中国語の講義を受講するにはHSK（漢語水平考試）3級程度の語学力が必要です。ただ中国の大学の場合、語学能力の足りない学生に対して半年間の中国語専門教育を無料で提供しますので、上記水準に満たない学生でも充実した留学生活を送ることが出来ます。

Q. 留学はどのようなタイミングでするのがいいですか？

A. 交換留学は2年次以降から可能です。2年生の後期から、または、語学力の向上を待って3年生の後期から留学します。本学部の提携校の多くは、秋学期－春学期制をとっており、おおよそ8月末から1月までが秋学期、1月末から5月中・下旬までが春学期です。そして春学期から秋学期の間に長い夏休みがあります。そこで二学期間留学をする場合、長期の夏休みに渡航期間がかからないよう、秋学期（本学部の後期）からの渡航を薦めています。また、一学期間のみの留学を考える場合も、秋学期での留学を薦めています。春学期は徳島大学の二学期にまたがってしまうからです。

Q. 留学することで卒業の時期が遅れることはありますか？

A. 留学先の大学での単位取得状況によりますが留学期間も含めて（交換留学の場合留学期間も修業年限に含まれます）4年間で卒業は可能です。ただし、3年後期から二学期間の留学をし、かつ中学校や高等学校の教員免許取得を目指す場合などは、必要単位数および教育実習の兼ね合いから、一年卒業を遅らせる事例もあります。

Q. 留学で取得した単位は卒業単位に換算されますか？

A. 海外の大学で取得した単位は、その単位を取得するのに要した時間数（実際の授業時間および予習復習に要した時間）に応じて、総合科学部の専門科目の単位に40単位まで換算されます。ただし、その取得した科目が総合科学部のカリキュラムの理念に適合している必要があります。そこで、取得予定の科目一覧（留学に伴う履修計画書）を留学する前に提出し確認を求める必要があります。

Q. 休学して留学はできますか？

A. 交換留学の場合は認められません。しかし、提携校以外に留学する場合や一部の提携校については可能ですし、休学期間中であっても海外の大学で取得した単位は、上記と同じく卒業単位に認定されます。

Q. 留学で就職活動に影響が出ることはありますか？

A. 例えば3年後期から二学期間留学した場合は就職活動に若干遅れを取りますが充分間に合います。むしろ海外留学を体験した学生は語学力はもちろんのこと、物の見方やさまざまな価値観への柔軟性、豊かなコミュニケーション能力など、これからのグローバル化社会に必要な人材とみなされる場合が多く、業種によっては就職にきわめて有利だと考えられます。

Q. 英語圏以外の大学でも英語の勉強ができますか？

A. 本学部生の留学先として、たとえばスウェーデンのルンド大学、ラトヴィア大学、ベルギーのアントワープ大学、クロアチアのザグレブ大学、韓国の慶北大学、マレーシアのマラヤ大学、台湾の開南大学等があります。それらの大学では英語による講義科目が十分に提供されており、これらの科目を受講、単位取得することで英語力の向上が図れます。とくにルンド大学は世界レベルでランキング50位台の大学で、英語による講義科目の充実ぶりもあり、本学部で人気のある留学先の一つです。

Q. 留学先での宿舎は確保できますか？

A. 留学先の大学では派遣先大学から宿舎が紹介されることがありますが、交渉・手続きは自分で行います。留学についての諸手続きを含めて、この時点から留学は始まっていると考えてください。

Q. 留学先でホーム・ステイはできますか？

A. 留学先の大学の一部がホーム・ステイ先を紹介する場合がありますが、ほとんどの学生は大学が提供する宿舎で、世界のさまざまな国からの留学生とともに暮らすことを選択しています。そのことで得られる貴重な体験は留學生活の醍醐味の一つでしょう。

Q. 治安が心配ですが大丈夫でしょうか？

A. しばしば相談を受けるのは中国・韓国のケースです。しかし、中国・韓国に関する日本の報道は誇張気味であり、実際は大きな事件・事故は起こっていません。在留邦人も中国に10万2千人程度、韓国に4万人程度居住しています。事件・事故は軽犯罪が中心であり、常識的に暮らしていれば巻き込まれることはありません。また中国の宿舎は大学の構内に設けられることが多く安心です。

ただし、歴史認識問題などで懸案事項を抱えていることは事実です。近現代史について学習を深めたいという学生の渡航が望まれます。

Q. 留学先でインターンシップを経験できますか？

A. アメリカのヴァレンシア大学が提供するディズニー・ワールドでのインターンシップが特に人気があります。大学で講義を受けつつ、フロリダのディズニー・ワールドのスタッフの一員として世界中から訪れる観光客にサービスを提供しながら、ビジネスの実体験をする6カ月間のプログラムです。

ディズニー・ワールドは娯楽施設ですが、そこでスタッフとして、しかも英語を駆使して働くということとはなかなか難しく、またディズニーのインターンシップは世界的にも定評があります。このプログラムに参加するには英語力やGPA（大学での成績）の審査に加えてウォルト・ディズニー本社スタッフによる英語でのジョブ・インタビュー（就職面接－日本でおこなわれる）に合格しなければなりません。参加された学生は貴重な体験をしてきています。

Q. 提携校以外への留学は可能ですか？

A. 総合科学部が留学によって十分な教育効果が得られると判断した場合、留学は可能です。

しかし、交換留学ではないので、留学先の大学で授業料が必要になる場合がほとんどです。そこで、この場合は休学して留学する場合があります。

IV. カルチャー・ラウンジ

総合科学部 1 号館 2 階に学部・大学院生・留学生が自律的に語学学習や異文化交流を行う場として、カルチャー・ラウンジが設置されています。くつろいだ環境の中でキャンパス内にいながら異文化交流を体験できるスペースです。カルチャー・ラウンジでは自分たちで学び合うための 4 つのスペースが提供されています。

コミュニケーション・スペース

留学生と交流してコミュニケーション力をみがく



自習スペース

語学教材・留学情報の提供



カウンセリング・スペース

学習方法・留学に関する相談



授業スペース

TOEIC、TOEFL やアカデミック英語講座などの課外講座や外国文化について学び合うイベント



他にも様々な催しが行われています。韓国語チャットルーム、留学体験談イベント、留学生による語学・文化紹介クラス留学生歓迎・送迎会、新入生のためのラウンジ紹介、会議、季節の行事など

◆留学経験者からの声◆

短期留学

- 少しでも行きたいと考えているなら絶対に行くべきです。行って損は（ほぼ）絶対にしない！（スペイン研修）
- 性格も背景も多様な学生たちとの交流を通じて様々な生き方があると知りました。特に進路に対する考えが大きく変わったと思います。（台湾研修）
- レイリアの小学校で現地の小学生たちに日本の文化を紹介したことが楽しかったです。（ポルトガル研修）
- 留学で得たもの：失敗を恐れないチャレンジ精神 / 違いを楽しむ気持ち / 日本の良さを再確認（台湾研修）

長期留学



秋月 さくらさん / スウェーデン・ルンド大学へ留学（交換留学）

留学で得たものは何ですか。

留学で得たものは友達です。何気ないことで笑ったり、困ったときは助けあったり、悩みがある時は相談に乗ってもらったりと、彼らのおかげで私の留学生活は毎日楽しく素晴らしいものになりました。彼らとの交流を通じて、自分自身が成長し、新しいアイデアや視点を得ることができたと思います。

これから留学を考えている人へのメッセージ

留学は簡単なものではありません。慣れない環境での生活や文化の違いに戸惑うこともあると思います。しかし留学は人生においてきっと特別な思い出になります。楽しかったことも、苦労したことも留学中に経験したことは今後の人生の支えになるし、自分を成長させてくれます。



茂津目 尚紀さん / 韓国・慶北大学へ留学（交換留学）

留学で得たものは何ですか。

語学力の向上と自分の物の見方や価値観の変化です。

これから留学を考えている方へのメッセージ

もし、迷っているならぜひ留学して欲しいです。留学生活は確かにきつい所もあると思いますが、それも含めて終わった時にはとても良い経験をしたとを感じる事ができるものだと思います。留学は本当に行く価値があると思います。ぜひ楽しんでください。



黄文妮（コウブンニ） / 台湾・育達科技大学から留学（交換留学）

徳島に来てどうでしたか。例えば、驚いたことはありますか。

日本のコンビニ、スーパーやレストランなどのところでよくセルフレジを見かけることが新鮮でした。

留学を考えている学生に向けてアドバイスをお願いします。

日本の文化を体験したり、様々な人と交流して、留学生活を楽しんでください。



Gustav Malmros（グスタフ マルムロス） / スウェーデン・ルンド大学から留学（交換留学）

留学を考えている方に向けてのアドバイス

徳島大学にたくさんの面白いサークルがあります。私は演劇部に入ったことによって、たくさんの友達ができ、日本語がかなり上達しました。ですので、留学生へ部活に入った方がいいとアドバイスします。演劇に興味がなくとも、たくさんのスポーツのサークルがあるので、自分の興味にあうサークルは必ずあるはずです。

上記紹介内容は留学体験記から一部抜粋したものです。

詳細内容は総合科学部国際交流 HP をご覧ください。

V. バレンシア国際カレッジプログラム

留学 + Walt Disney World での海外インターンシップ

年2回実施：2月出発または8月出発〔約6ヵ月間〕

場所：米国フロリダ州 オーランド

対象学部：徳島大学 総合科学部

期 間：春期2月～8月（6月頃～募集開始）

秋期8月～1月（10月頃～募集開始）



プログラム概要

期間

- ・ 約6ヵ月
- ・ 年2回の出発日(2 出発・8月出発)があります

内容

米国フロリダ州オーランドに所在するバレンシアカレッジへ留学・在籍します。バレンシアカレッジ講師と、同州にあるウォルトディズニーカンパニーの講師によるビジネスマネジメント、ホスピタリティのコース履修と、ウォルトディズニーワールドでの就労体験を組み合わせたプログラムです(現地プログラム)。

現地プログラムへ向けた準備として、事前に国内でのガイダンスや講座も受講していただきます(国内プログラム)。

応募条件

- ・ 総合科学部に在籍していること
- ・ プログラム開始時点において第1学年の課程を終えていること
- ・ TOEIC 600点またはその他のテストスコアで相応のスコアをお持ちの方

費用 (目安)

- ・ 約 合計100万円～120万円 (プログラム及び学費等、その他申請料、航空券等、初期生活費等)

インターンシップについて

- ・ 仕事内容：一次・二次面接通過者は希望と適性により Disney より“ロール”(役割)がオファーされます
- ・ 実習：約30～37.5時間(1週間)
- ・ 給与：目安\$16 (ロールによって時給額は異なります。)

選考

学内の書類・面接選考、バレンシアカレッジ担当者によるインターネットビデオ通話面接、ディズニー担当者による面接を経て参加の可否が決定します。

プログラムへの参加を考えている方へ -参加した先輩より

“「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ」。語学はもちろんですが、他の留学では学べないこと、経験できないことがたくさんあると思います！向こうでの生活はホームシックにかかる暇すら惜しいくらい、あっという間です^^沢山素敵な経験を積んで、沢山楽しんでください♪”

“状況に応じたリーダーシップのとり方、組織をいい方向へ変えていくときにリーダーが気を付けなければならないことなど、リーダーシップのとり方について学びました。授業内でも活動が多く、ほとんどが楽しいものでした。担当の先生は一人ひとりの夢を把握し、応援してくれていました。”

“このインターンシップでは、海外で「学ぶ・暮らす・働く」という現場を一通り体験することができます。ディズニーのサービスを働きながら学ぶことができたり、世界中の人たちと交流できる等、様々な利点がありました。様々な国の文化に触れるだけでなく、海外で仕をすることで自分の中で自信にもなりましたし、ここでの経験は一生の宝物です！”

“海外のディズニーで働いて、授業も受けられて、こんなに成長できる環境は本当に貴重だと思います。不安でいっぱいだと思うけど、参加して後悔することはないと思います。”

